

# じゃっど 新聞

JADDO 第2号

1993年 8月 5日 新

JADDO

アジアのこども達を援助する会

事務局:〒895 鹿児島県 川内市 神田町 11-20

若松記念病院となり 寿泉堂薬局

TEL. 0996-20-1402

## JADDO (じゃっど) これまでの活動報告

### 1) ホンケ村小学校

1992年	12月	22日	校舎壁補強費援助 (1,000ドル)
1993年	4月	2日	校庭整備及び教室天井補強費援助 (1,000ドル)
	6月	4日	衛生知識の調査

### 2) ドンカラム村小学校

1993年 3月 30日 村を訪問、村長や学校長、保健所長をはじめ村の識者20名余りに村の状態等を聴取り調査。学校視察。今後の協力計画を策定。  
(株)九薬(薬品問屋)と若松病院職員から寄付された鉛筆、ノートなどを届ける。

ホンケ村小学校のことはじゃっど新聞第1号に書きましたが町の小学校です。田舎の小学校に行きたいけれど一回一回政府の許可をもらわなければならず面倒です。ドクターソムサナの生れ故郷(ドンカラム村)が、程よいところにあるのでこどもJADDOの対象にしました。

ドンカラム村はビエンチャンの中心地から40キロ離れていますがビエンチャン特別区の中なので許可無しで訪れることができます。

村に入る1キロくらい手前はひどいでこぼこ道ですがそれ以外は道路事情がよいので車で1時間少々で行けます。3月30日に行ってきました。

ドクターソムサナから事前に連絡してあったので村長、地区の教育委員、保健所長など村の実力者が勢揃いして待っていてくれました。

椰子の実にストローをさしたものが用意されていました。おいしい椰子の実ジュース(ウォッカを少し入れるともっとおいしい)を飲みながら私と夫の紹介、村にときどき来ることになる等話し、村の状態も聞きました。

その後、村の視察です。村の中を通ってお寺の境内を抜けて学校へ、そして保健センターへ行きました。学校は小学校と中学校がいっしょになってい

ました。建物を見てビックリ。タラート村でビックリしていた私は世間知らずでした。壁が半分無いのです。去年大風が吹いて、屋根と壁が飛んだらしいのですが屋根だけはセイブ・ザ・チルドレン基金の寄付で作り、壁は村でお祭りをして村人の寄付を集めてレンガを買って先生が作っているということでした。

教室には黒板と机と椅子だけしかありません。机と椅子も壊れかけたものがたくさんありました。

職員室に縦横1メートル、幅20センチ程の木箱がありました。トランクのように開けると中はマガジンラックのようになっており、ラオス語の本が数冊並んでいました。日本人と結婚したラオスの女性がラオス語の本を作って小学校に配っているそうです。日本在住とのことですから一度会いたいと思います。

校長先生に九薬と若松病院職員からあずかった文房具を渡しました。

学校への援助に対し現金収入の無い村の人たちの大きな期待を感じました。しかし、途上国で時々起こる援助漬けにしてしまい、ただ援助を待つだけの村にしてしまっただけでは申し訳ないです。村の現況を見ながら考えていこうと思います。

## ドンカルム村小学校にて



左から  
ドクター・ソムサナ  
帖佐理子  
ハサデー先生  
(中学校長)  
スーカム先生  
(小学校長)

後が校舎の壁です。腰までレンガとセメントで上方は竹です。風通しと採光を考えてあります。

= 紹介 =

### Dr. ソムサナ

1950年生まれ 男性  
ラオス国立衛生研究所 副所長  
全国予防接種計画第一責任者

JADDOの副会長をしてもらっているドクターソムサナを紹介します。

ドンカルム村の秀才で中学校からピエンチャン市内に下宿して国で一番の学校を出ています。その当時は村から6時間歩いて大きな道まで出て、それからバスに2時間乗ってピエンチャンに着いたそうです。今は道路ができてバスなら2時間、車なら1時間半で着きます。ただし今でも雨期は道路がドロドロになり倍以上の時間がかかるか、行けなくなるかですが。村から一歩も出ずに一生過ごす人いるなかで村中の期待をしょって勉強したようです。

期待に応えて、コネ社会のこの国で国立衛生研究所の副所長にまでなり、予防接種に関しては大統領から一目置かれるようになっています。

ドンカルム村は彼の故郷、ホンケ小学校は彼が今PTA会長をしているところと、彼がらみですがひとつにはこの国が共産主義なので何をするにも政治的組織を通す必要があります。外人がフラフラと小学校に出かけて行っても受け入れが難しいところがあります。ドクターソムサナの人脈と信頼でJADDOはすぐに受け入れてもらえました。それともうひとつの理由はことばです。私はラオス語が全くわかりませんし、ほとんどのラオス人は日本語はもちろん英語はかたこともだめです。知識人はフランス語です。ソムサナはなんとフランス語、ドイツ語、英語がべらべらです。

インドシナとしてフランスの占領下ではフランス語で授業を受け、革命後は東ドイツに8年間も留学し、帰ってくるとソ連の崩壊で国には西側の人間がやってきて英語を話してくれと言ってきているわけですから、悲しい歴史の結果なのですが。

仕事中毒ですが、いつでも歌を歌いながら楽しく仕事をこなしている エネルギーのあふれた人物です。

## JADDOって何? 鹿兒島弁で「そうです。」「その通り!」の意味です。

日本の外務省管轄の国際協力事業団はJICA(じゃいか)と略されています。「じゃいか?」とくれば「じゃっど」と応えたい。政府の大きな国際協力とは異なる小さいけれど相手の顔が見えて声が聞こえる援助にしたいです。(鹿兒島弁で「じゃいか?」は「そうなんですか?」の意味)

JADDOにもJapan-Asia-ナントカカントカと意味を考えたいです。アドバイスをいただけますか?